

新山 勝久 議員



一括質問方式

- ①大成橋
- ②堤防の進捗状況
- ③コロナ禍における子供たちのケア
- ④富士山公園

大成橋について

**問** 予定どおり工事は進んでいるのか。また、完成時には渡り初めの式典など予定されているのか。

**答** 大成橋の開通は、市としても被害からの復興の証しの一つとして心から待ち望んでいます。

進捗状況は、現在橋梁下部工5基全てが完成し、上部工の鋼製橋桁は4径間のうち2径間が架設されており、引き続き左岸側の取りつけ道路

等に着手しています。

河川内工事の施行期間が制限される厳しい条件の下、愛媛県では作業員や資材の確保は既に見通しが立っており、出水期明け頃から残る橋桁の架設等を再開し、令和4年3月末の完成に向けて総力を挙げて復旧に当たると伺っています。また、仮設道や資材置場としてご協力いただいている農地の原状復旧は、橋の完成と同じ時期を予定しています。今後とも関係機関と調整を図りながら早期復旧に努め、完成時には開通式典を行う予定です。

工事中の大成橋



コロナ禍における子供たちのケアについて

**問** コロナ禍で先が見えない現状で、先生方はこれまでとは違う行事のあり方や進め方に苦慮されている。コロナ禍における行事等を今後どのように予定しているのか。

**答** 5月末までの感染対策期の行事は全て中止または延期としましたので、延期した行事は昨年度と同様、内容を精選し半日開催としたり観覧を制限するなど県内の状況や学校の実態に応じた対応を取るようになっています。

特に、修学旅行はそのときの感染状況にもよりますが、行き先の近場への変更や宿泊数を減らすなど、保護者のご意見をしっかりと聞いて対応します。

富士山公園について

**問** 富士山公園のツツジは、木の高さが2メートルほどあり十分に楽しめる環境ではない。

樹木の剪定には、経験や技術に加えて育成に応じたタイミングが重要で、これらを適切な時期、判断で手

入れが必要かと思う。今後のツツジの剪定などの維持管理や、富士山の方向性をどう考えるか。

**答** 富士山のツツジは約50年が経過し、樹高も大きく成長しており眺望やツツジの観賞等に影響を及ぼしているため、平成21年度から通常の維持管理に加え、樹高を低くするための対策として強剪定などに取り組んでいます。範囲が広いため毎年エリアを選定し少しずつ実施しています。

ツツジは剪定時期によっては翌年の花数にも影響を及ぼすため、専門家の意見を聞きながら適切な時期、方法で剪定し、立ち枯れたツツジの補植も検討したいと考えています。公園施設長寿命化計画に基づき、令和元年度から老朽化した水道施設の更新を実施しているほか、今年度は破損した水路修繕等を実施しています。

公園管理は、破損等があれば安全性、緊急性等の検討を行い計画的に対処しており、雨などで園路が洗い流されている場合も状況等を確認し、適切に対処したいと考えています。